

令和2年豪雨災害に伴う共済対応について

- (1) 会員生協より、豪雨対応エリアを選定いただきました。
- (2) CO・OP共済《たすけあい》ジュニアコース除く加入者とCO・OP火災共済加入者の対象地区にダイレクトメールを発信しました。
- (3) ダイレクトメール発送地区
 - ・グリーンコープふくおか 1,366 軒（久留米市、八女市、みやま市、大牟田市）
 - ・グリーンコープくまもと 2,769 軒（人吉市、球磨郡、葦北郡、八代市）
 - ・グリーンコープおおいた 209 軒（日田市、大分市、九重町、玖珠町、中津市、由布市）
 - ・グリーンコープかごしま 208 軒（鹿屋市・曾於市・志布志市・伊佐市）
- (4) 8月5日（水）から8月6日（木）、大牟田市の被災エリア 108 軒を訪問しました。
 - 1) 訪問対象組合員に、お見舞い品（タオル・濡れティッシュ、エコバック）を渡しました。



- 2) 総合共済加入者は、住宅および家財の損害額が合計20万円以上または床上浸水の場合、住宅災害の請求手続きを行います。（訪問活動で被害状況を現認した場合、罹災証明書は不要となり、その場で書類に記入押印で請求を受け付ける）
- 3) 訪問の結果、108件中54件在宅、うち2件の被害状況を現認し給付を受け付けることができました。

訪問軒数	対面	不在
a+b	a	b
45	20	25
63	34	29
108	54	54

全壊	半壊	一部壊	支払対象	請求書枚数
c	d	e	c～e計	
0	1	0	1	1
0	0	1	1	1
0	1	1	2	2